

■ランプについて

- LED光源寿命（光束維持時間）は、40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチを使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- ランプの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

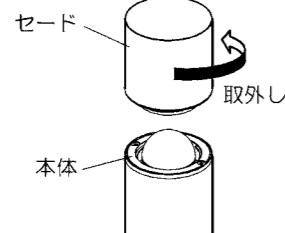
△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 セードを取り外す

セードを矢印方向に回して、本体より取外す。

※無理な力は加えないでください。



3 古くなったランプを取り外す

4 新しいランプを取り付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行なってください。
落下によるけがの原因になります。

※白熱ランプは使用できません。



5 セードを取り付ける

■施工手順6を参考にセードを取り付ける。

6 使用済みのランプは必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書

<保証について>

- 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電圧(電圧、周波数)による故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間

お買上年月日

お客様 お名前

ご住所

電話 ()

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

<アフターサービスについて>

- 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
- 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
- ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。

*お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

※This warranty is valid only in Japan.

型番 AU51320・AU51321・AU51322

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

! 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

| | | | | |
|--|-----------|---|--|---|
| | 厳守 | 器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。 | | 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。 |
| | 禁止 | この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。 | | 器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。 |
| | 禁止 | この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障の原因になります。 | | アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。 |
| | 禁止 | このような場所には取付けないでください。 土壤のしっかりした場所に取付けてください。 →火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。 | | 表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。 |
| | 厳守 | 温気の多い場所、振動や衝撃の多い場所、傾斜のある場所、不安定な場所、冠水のおそれがある場所 | 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。 | |

! 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

| | | | |
|--|---|--|--|
| | 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。 | | ポール内に水がたまらないようにしてください。 →絶縁不良による感電および腐食によるポール折れの原因になります。 |
| | ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。 | | 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状況で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。 |
| | ガス機器など、温度が高くなるものの近くへの取付けや、器具の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。 | | 地中配線は、内線規程2400節地中電線路、JIS C 3653電力用ケーブルの地中埋設の施工方法に従ってください。 →絶縁不良による感電・故障の原因になります。 |

■定格

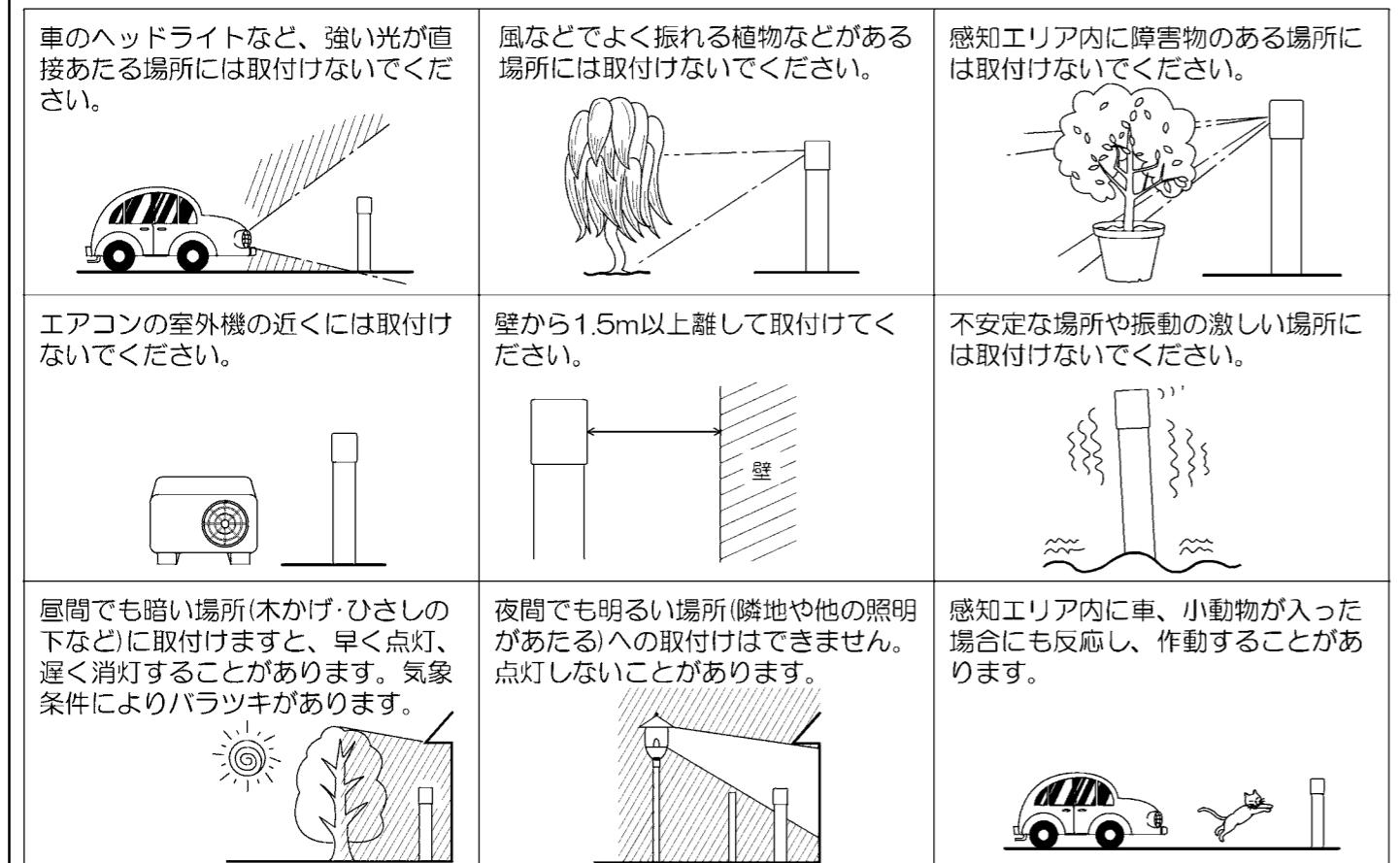
| 型番 | 定格電圧 | 入力電流 | 消費電力 | 使用ランプ |
|----------------------------|--------|-------|------|---------------------|
| AU51320・AU51321 AU51322 | AC100V | 0.07A | 4.8W | LDA4-H/E/W/2(E26)×1 |
| | | | | |

※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工前の確認

1 設置場所を確認する

- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 積雪の期間は器具を取り外すか、雪に埋もれないようにする。
漏電・故障・損傷の原因になります。
- 下図のような場所には取付けない。
誤動作の原因になります。



- 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。
- ポールは土壤のしっかりした場所に設置する。
- ※砂地などの土質の軟らかい場所に設置する場合は、コンクリートなどでポールの埋込部を固定してください。

2 器具と他の光源は1m以上離して取付ける

誤作動の原因になります。

3 施工に関しては電気設備基準・内線規程に従って行なう

4 自動点滅器(デイライトスイッチなど)との併用はしない

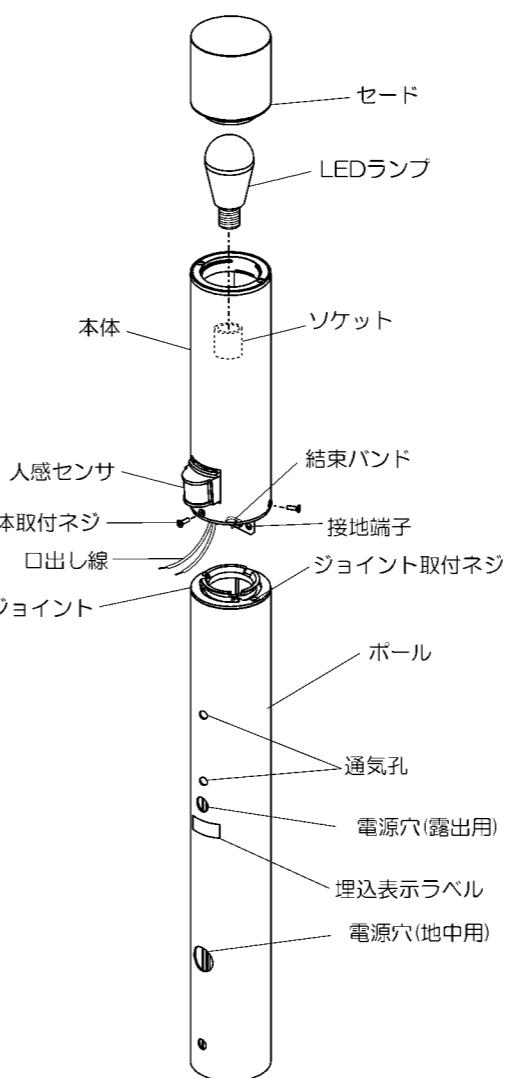
誤作動の原因になります。

5 壁スイッチを設ける

誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

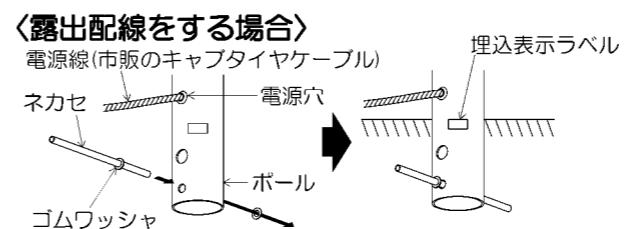


〈付属部品〉

- ネカセ 1本
◎ ゴムワッシャ 2枚

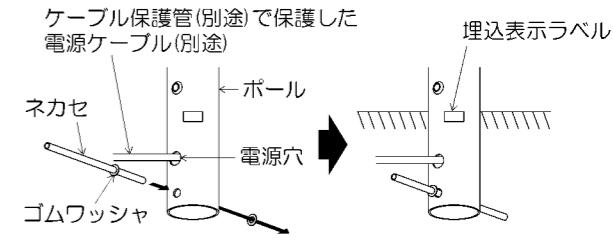
1 ポールを取付ける

- 電源線(市販のキャブタイヤケーブル)を電源穴からポールに通す。
- ネカセをポールに差し込んでゴムワッシャで止める。
- 埋込表示ラベルがかくれるまで埋め込む。



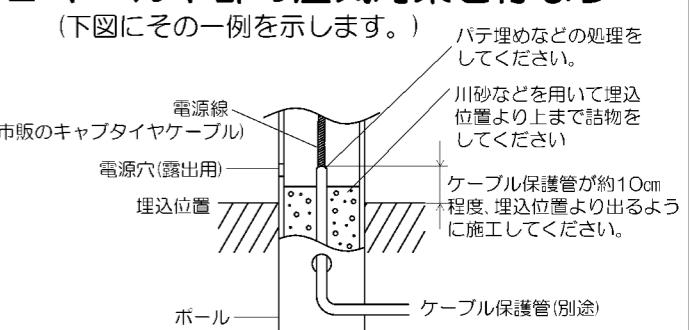
〈地中配線をする場合〉

ケーブル保護管(別途)にバテ詰めなどの処理を行う。
電源線(市販のキャブタイヤケーブル)の長さはポールの長さよりも20cm程長くしておいてください。



2 ポール下部の湿気対策を行なう

(下図にその一例を示します。)



3 電源線を接続する

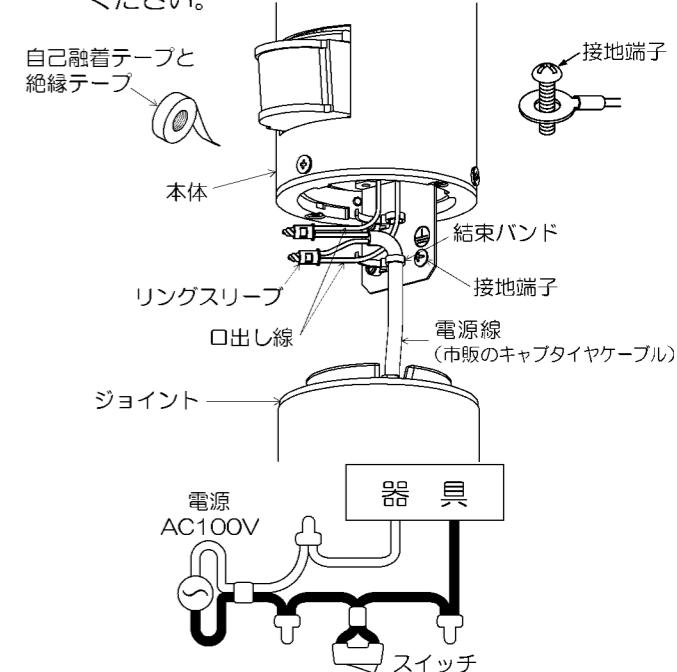
結束バンドで電源線を本体に固定する。
電源線と口出し線を確実に接続し、防水および絶縁処理を行なう。
電源線を引出しづらい場合は、ジョイント取付ネジをゆるめ、ジョイントをはずしてから電源線を引出してください。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

△警告 電源の接続および絶縁を確実に行なってください。

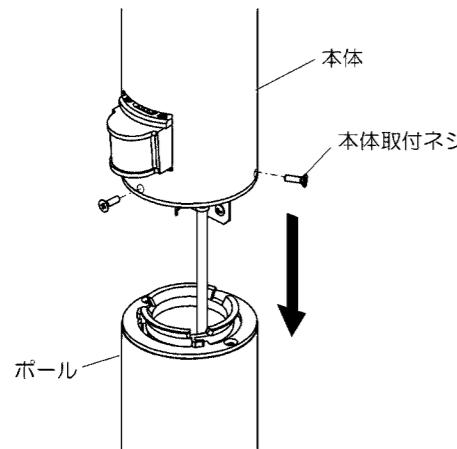
接続が不完全な場合は火災の原因になります。
電源接続をする際は壁スイッチを必ず設ける。

注)スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。



4 本体を取付ける

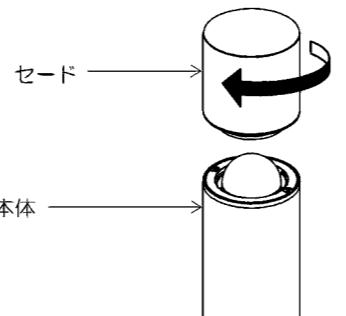
本体をポールに合わせ、本体取付ネジで取付ける。



6 セードを取付ける

セードを本体に合わせ、矢印方向に回して取付ける。

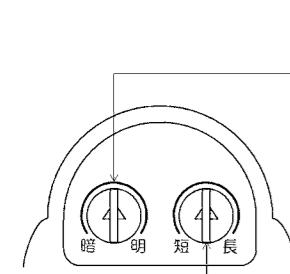
※無理な力は加えないでください。



5 ランプを取付ける

7 点灯の確認を行なう

■センサの内容



| スイッチ | スイッチ位置 | 設定内容 |
|------|-----------|--|
| | 点灯照度設定ツマミ | 左に回すと低い照度で点灯 右に回すと高い照度で点灯 右いっぱいに回すと明るさに関係なく点灯 人感センサのはたらきはじめ る周囲の明るさの設定とセン サの動作確認(テスト)ができます。 |
| | 点灯時間設定ツマミ | 左に回すと最短約30秒 右に回すと最長約180秒 人を感知して点灯する時間を 設定できます。 |

※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。

■感知エリアの設定

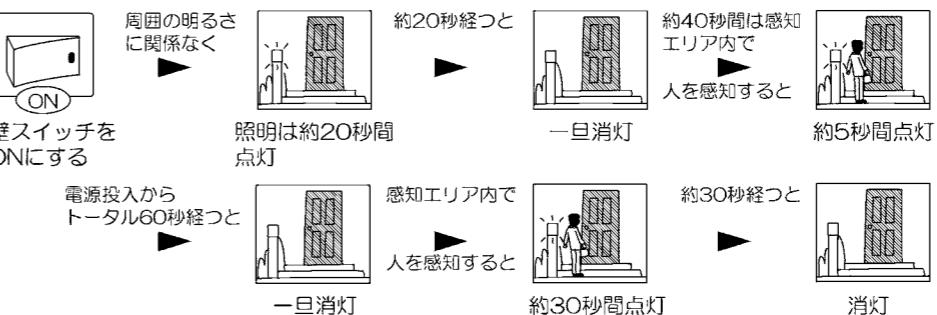
右図のように点灯照度設定ツマミを右いっぱいに回し、点灯時間設定ツマミを左いっぱいに回して、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

点灯照度設定ツマミ 点灯時間設定ツマミ



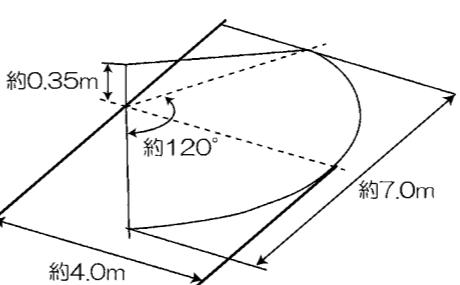
- ①電源投入後、約20秒間点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知することに約5秒間点灯します。
電源投入から約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります。
結線および負荷の作動を確認できます。

- ②明るい時(昼間)でも人を感知する毎に約30秒間点灯します。
感知エリアを歩き、エリアの確認を行なってください。

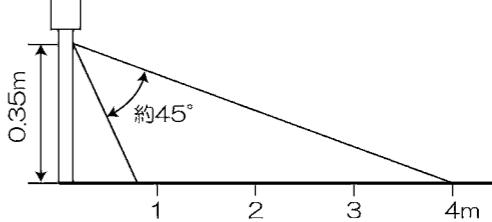


※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

●水平方向<左右約7.0m>

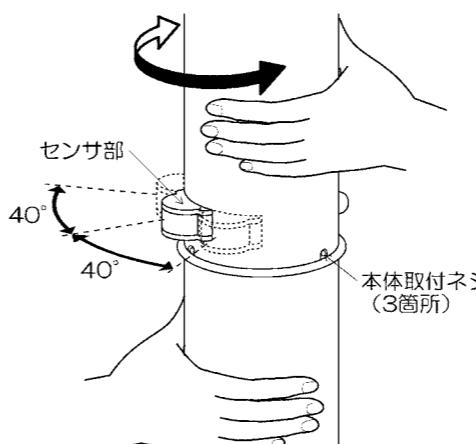


●垂直方向<高さ0.35m>



- センサを動かして感知エリアを調整できます。

※センサに向かっての動作では感知しにくい場合があります。(約半分の距離になります。)



センサ部は中心から左右に40°ずつ可動します。
センサの感知範囲の設定方法は、本体取付ネジをゆるめて左右方向に角度設定をしてください。
設定後はしっかりと固定してください。

※調整範囲以上無理に動かさないでください。

※エリア確認後は必ず点灯照度設定ツマミを左方向に回し、点灯時間設定ツマミを右方向に回してください。
(点灯回数が多い場所では点灯時間設定ツマミを右いっぱいに回してください。)

■センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで点灯照度と点灯時間を設定してください

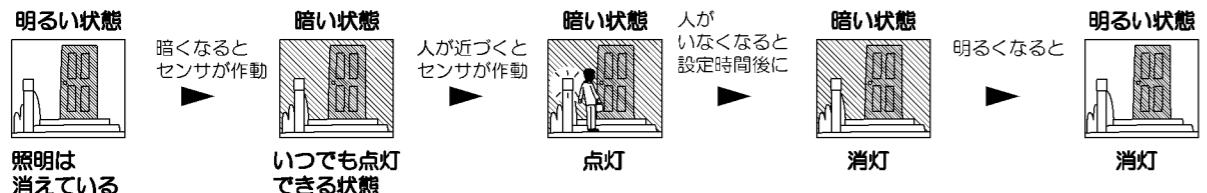
- センサの動作について

<センサ待機モード>

暗い状態で、人が近づくとセンサが感知して点灯します。

※電源投入後、約20秒間点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知するごとに約5秒間点灯します。
電源投入から約60秒後に一旦消灯し設定したモードになります。

・オン／オフモード(必要な時だけ点灯で省エネ)



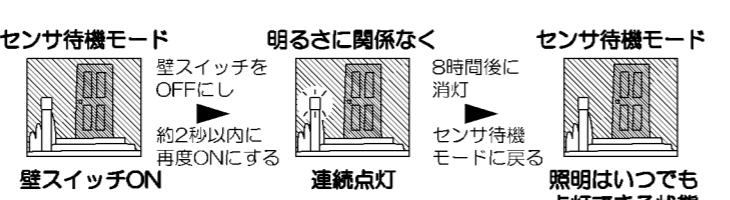
※設定後、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

■その他の設定

- 壁スイッチの操作で8時間連続点灯ができます。

<連続点灯モード>

周囲の明るさや人体感知に
関係なく連続点灯します。



■モードの切り替えを壁スイッチで操作する (プルレス操作)

- この器具は、センサ待機モードと連続点灯モードを壁スイッチを使用して設定できます。

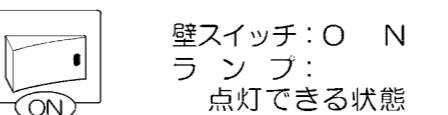
※この器具を使用される場合は、必ず壁スイッチを取付けてご使用ください。壁スイッチを
使用しないと誤作動のリセットおよびモードの切り替えができません。

※1つの壁スイッチで2台以上のセンサ器具をプルレス操作すると連続点灯モードに切り替
わらない場合があります。



※ご使用の壁スイッチが、押しボ
タン式など電源のON・OFF状態
がわからないタイプの場合は、
下記の操作を確実に行ってく
ださい。

壁スイッチをONにします。
ランプが約20秒間点灯し、その後約40秒
間は明るくても人を感知するごとに約5秒
間点灯します。
電源投入から約60秒後に一旦消灯し設定
したセンサ待機モードになります。



壁スイッチ: O N
ランプ:
点灯できる状態

※連続点灯モードに切り替えたい場合
壁スイッチをOFF→ONと約2秒以内の
連続操作で連続点灯モードになります。

<ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示灯が点灯するタイプ>
壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されますとプルレス動作が正常に
はたらかない場合があります。

壁スイッチを3個以上使用される場合はホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

<パイロットスイッチなど、電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。

<押しボタン式など、電源のON・OFF状態がわからないタイプのスイッチを使用する場合>

スイッチを1回押しても点灯しない場合は、5秒以上過ぎてから再度押してください。

! 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上の注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に、器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがあります、異常ではありません。
- 周囲環境によって、セード内側に結露が生じる場合がありますが、一時的なもので異常ではありません。
- ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は2個ま
でとしてください。壁スイッチを3個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してく
ださい。
- 点滅を頻繁に繰り返すとランプの寿命が短くなります。点灯時間設定ツマミを右いっぱいに回すことをおすすめし
ます。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

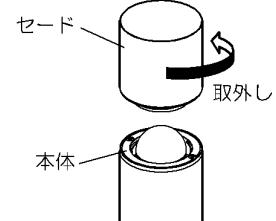
△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 セードを取り外す

セードを矢印方向に回して、
本体より取外す。

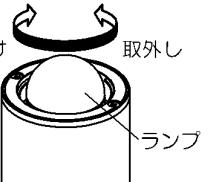
※無理な力は加えないでく
ださい。



3 古くなったランプを取り外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、
確実に行なってください。 取付け
落によるけがの原因にな
ります。
※白熱ランプは使用でき
ません。



5 セードを取付ける

■施工手順7を参考にセードを取付ける。

6 使用済みのランプは 必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼になれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル 電話 0570-055123
(全国共通番号)

受付時間：9:00～17:30
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2019年10月現在)

愛情点検



ご使用の際
このような
症状は
ありませんか
●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
●コードに傷や痛みが見られる
●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
●ゴム、コード、本体などか非常に熱い。
●グローブ、セードなどにひびが見られる。

●コードに傷や痛みが見られる
●ゴム、コード、本体などを点滅する。
●コード、本体などか非常に熱い。
●グローブ、セードなどにひびが見られる。

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源スイッチ
を切り、必ず販売店に点検、修理を
依頼してください。

●照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおおすすめします。(周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
●周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明器具 保証書

<保証について>

- 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)・グローポンチ管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷
 - 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - 施工上の不備に起因する故障や不良
 - 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

<アフターサービスについて>

- 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
- 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。
- ※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

お買上年月日

お客様 お名前

ご住所

電話 ()

型番 AU51323・AU51324・AU51325

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

警 告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

| | | | |
|--|---|--|--|
| | 器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・転倒・落によるけがの原因になります。 | | 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落によるけがの原因になります。 |
| | この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。 | | 器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。 |
| | この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落によるけが・感電・故障の原因になります。 | | 器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。 |
| | このような場所には取付けないでください。 土壤のしっかりした場所に取付けてください。 →火災・感電・転倒・落によるけがの原因になります。 | | アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。 |
| | 表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。 | | 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。 |

注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

| | | | |
|--|---|--|--|
| | 点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。 | | ポール内に水がたまないようにしてください。 →絶縁不良による感電および腐食によるポール折れの原因になります。 |
| | ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。 | | 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状況で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。 |
| | ガス機器など温度が高くなるものの近くへの取付けや、器具の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。 | | 地中配線は、内線規程2400節地中電線路、JIS C 3653電力用ケーブルの地中埋設の施工方法に従ってください。 →絶縁不良による感電・故障の原因になります。 |

■自動点滅器の動作について

- 暗くなると自動点灯し、明るくなると自動消灯します。

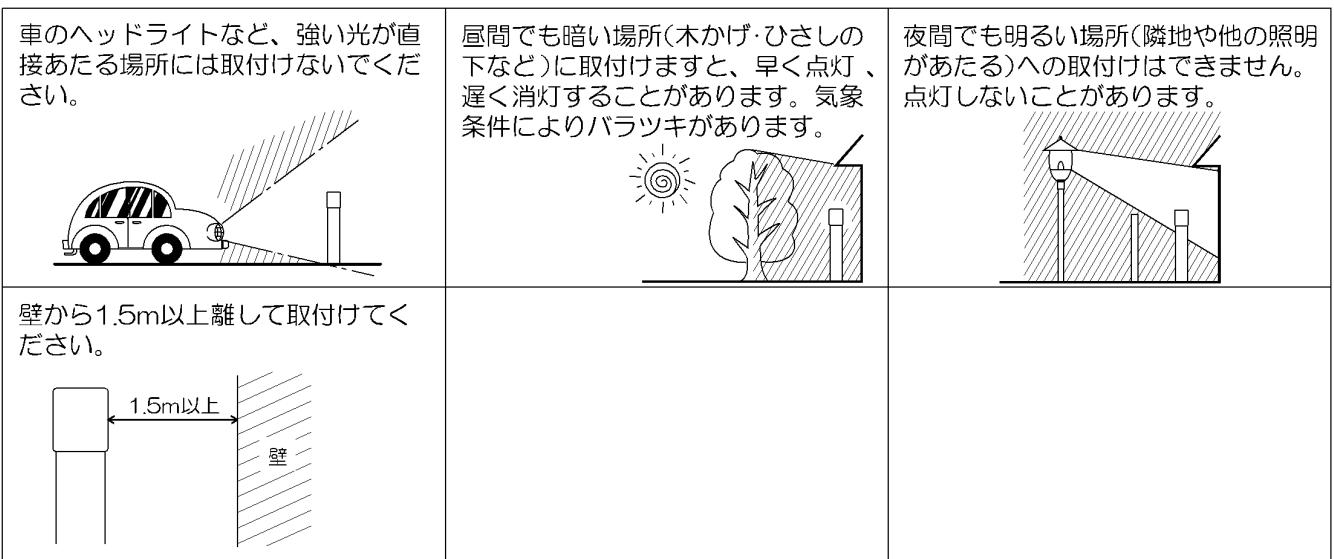


昼間でも器具が点灯し続ける場合は、自動点滅器カバーがよごれている可能性がありますので、よごれを拭き取ってください。それでも点灯し続ける場合は自動点滅器の寿命または故障です。

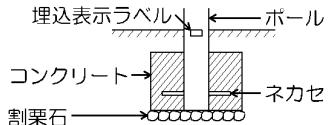
■施工前の確認

1 設置場所を確認する

- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 積雪の期間は器具を取り外すか、雪に埋もれないようにする。
漏電・故障・損傷の原因になります。
- 下図のような場所には取付けない。
自動点滅器の誤作動の原因になります。



- ポールは土壤のしっかりした場所に設置する。
※砂場などの土質の柔らかい場所に設置する場合は、コンクリートなどでポールの埋込部を固定してください。



2 器具と他の光源は1m以上離して取付ける 誤作動の原因になります。

3 施工に関しては電気設備基準・内線規程に従って行なう

4 ホタルスイッチを使用する場合

- ホタルスイッチなどと組み合わせる場合は1個までとしてください。
2個(3路配線)以上で使用されますと、LEDが消灯しないなど、誤作動の原因となります。

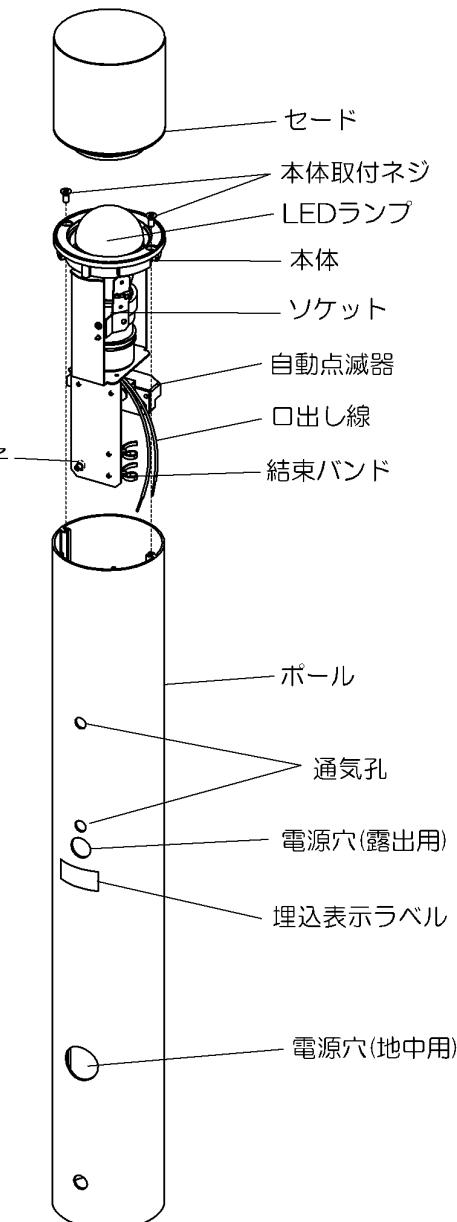
■定格

| 型 番 | 定格電圧 | 入力電流 | 消費電力 | 使用ランプ |
|-------------------------|--------|-------|------|---------------------|
| AU51323・AU51324・AU51325 | AC100V | 0.07A | 4.4W | LDA4-H/E/W/2(E26)×1 |

※待機電力は約1Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉

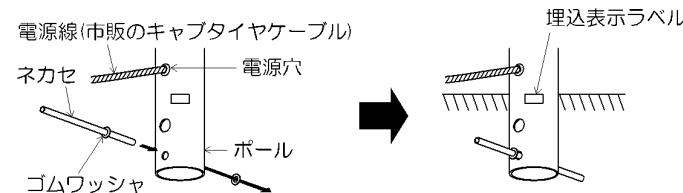
○ () ネカセ 1本

○○ ゴムワッシャ 2本

1 ポールを取付ける

- ①電源線(市販のキャブタイヤケーブル)を電源穴からポールに通す。
- ②ネカセをポールに差し込んでゴムワッシャで止める。
- ③埋込表示ラベルがかかるまで埋め込む。

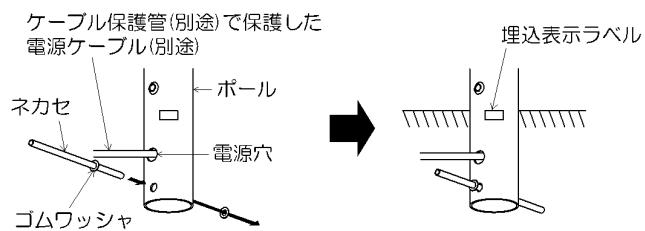
<露出配線をする場合>



<地中配線をする場合>

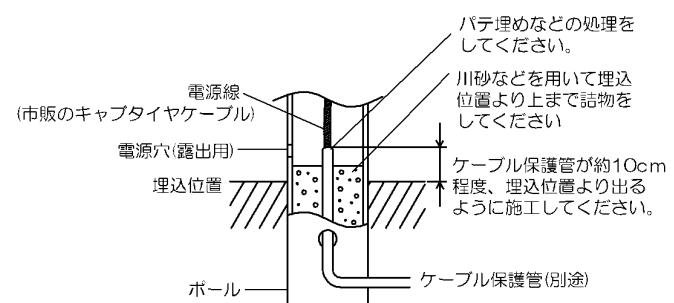
ケーブル保護管(別途)にパテ詰めなどの処理を行う。電源線(市販のキャブタイヤケーブル)の長さはポールの長さよりも20cm程長くしておいてください。

*ケーブル保護管(別途)は
PF管呼び14: JIS C 8411をご使用ください。



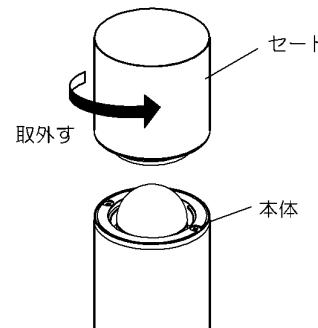
2 ポール下部の湿気対策を行なう

(右図にその一例を示します。)



3 セードを取り外す

矢印方向に回し、本体よりセードを取り外す。
※無理な力は加えないでください。



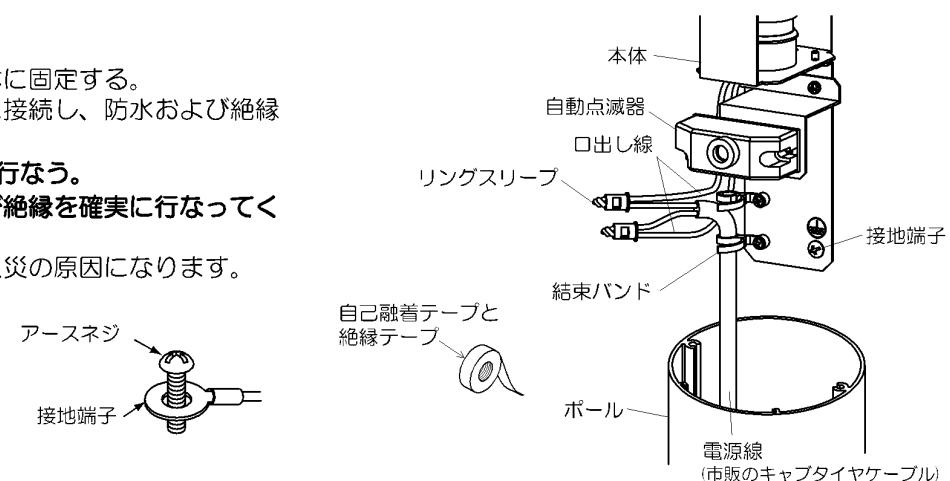
4 電源線を接続する

結束バンドで電源線を本体に固定する。
電源線と口出し線を確実に接続し、防水および絶縁処理を行なう。

*D種(第三種)接地工事を行なう。

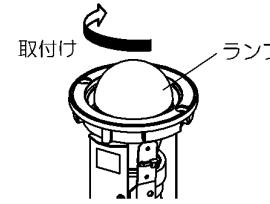
△警告 電源の接続および絶縁を確実に行なってください。

接続が不完全な場合は火災の原因になります。



5 ランプを取付ける

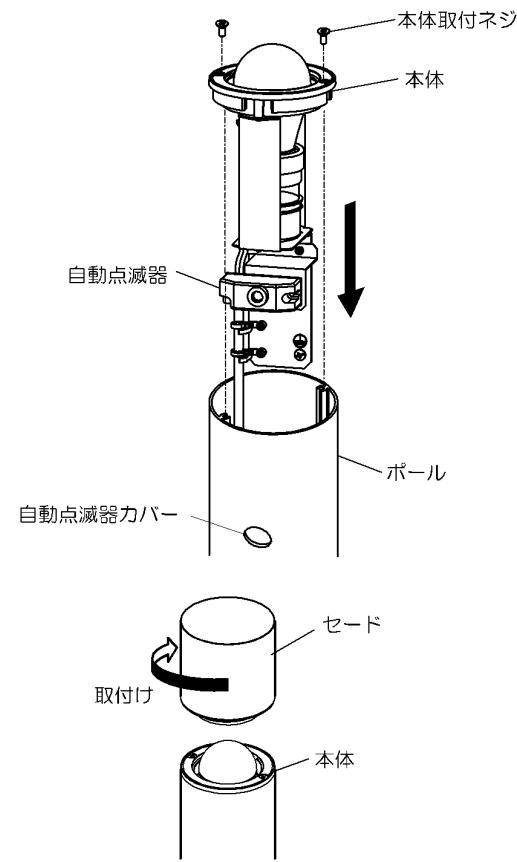
ランプを押しながら
矢印方向に回し、
確実に取付ける。



6 本体を取付ける

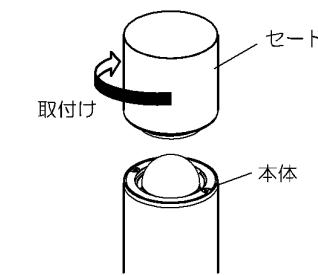
本体をポールに合わせ、本体取付ネジで取付ける。

*自動点滅器を自動点滅器カバーの方向に向くようにして、本体をポールに合わせ、本体取付ネジで取付ける。



7 セードを取付ける

セードを本体に合わせ、
矢印方向に回し、確実に取付ける。
※無理な力は加えないでください。



8 点灯の確認を行なう

電源を入れて点灯させると、明るい状態では点灯後1~2分後に消灯します。
自動点滅器カバーをふさいで光を完全にさえぎり、1~2分後に点灯すれば
テスト完了です。このテストを2~3回繰り返し行ってください。

器具の取り外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上の注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に、器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 周囲環境によって、セード内側に結露が生じる場合がありますが、一時的なもので異常ではありません。
- ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

■ランプについて

- LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- ランプの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

■ランプについて

- LED光源寿命（光束維持時間）は、40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- ランプの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。

間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

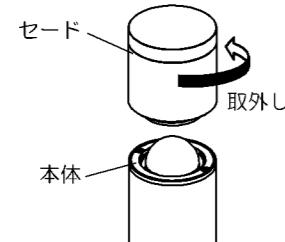
△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。 しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 セードを取り外す

セードを矢印方向に回して、本体より取外す。

※無理な力は加えないでください。



■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書

<保証について>

- 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電圧(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間

お買上年月日

お客様 お名前

ご住所

電話 ()

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

※This warranty is valid only in Japan.

<アフターサービスについて>

- 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
- 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。
- ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。
- ※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

※This warranty is valid only in Japan.

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

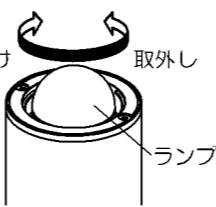
施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。
落下によるけがの原因になります。
※白熱ランプは使用できません。



5 セードを取付ける

■施工手順6を参考にセードを取付ける。

6 使用済みのランプは必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

【安全上のご注意】

警 告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

| | | | |
|------|---|-------|--|
| 厳守 | <p>器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。</p> | 禁止 | <p>器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込んでください。 →感電・故障の原因になります。</p> |
| 禁止 | <p>この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。</p> | アース工事 | <p>器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。</p> |
| 禁止 | <p>この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障の原因になります。</p> | アース工事 | <p>アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合は感電の原因になります。</p> |
| 禁止 | <p>このような場所には取付けないでください。 土壤のしっかりした場所に取付けてください。 →火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。</p> | 厳守 | <p>表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。</p> |
| 分解禁止 | <p>器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。</p> | | <p>異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。</p> |

注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

| | | | |
|------|---|----|--|
| 接触禁止 | <p>点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。</p> | 禁止 | <p>ポール内に水がたまらないようにしてください。 →絶縁不良による感電および腐食によるポール折れの原因になります。</p> |
| 禁止 | <p>ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。</p> | 禁止 | <p>ガス機器など温度が高くなるものの近くへの取付けや、器具の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。</p> |
| 厳守 | <p>地中配線は、内線規程2400節地中電線路、JIS C 3653電力用ケーブルの地中埋設の施工方法に従ってください。 →絶縁不良による感電・故障の原因になります。</p> | 厳守 | <p>照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状況で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。</p> |

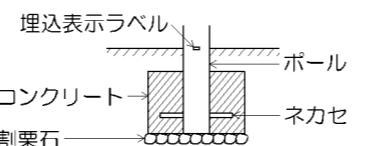
■定格

| 型番 | 定格電圧 | 入力電流 | 消費電力 | 使用ランプ |
|-------------------|------|------|------|-------|
| ALH-L100 ALH-L100 | 100V | | | |
| | | | | |

■施工前の確認

1 設置場所を確認する

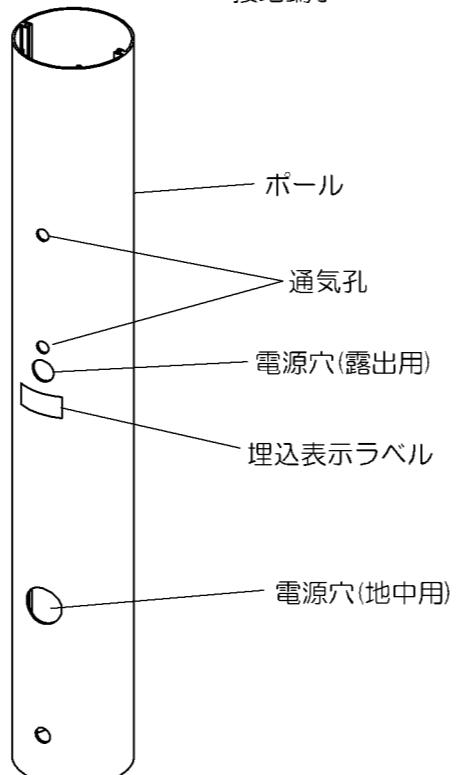
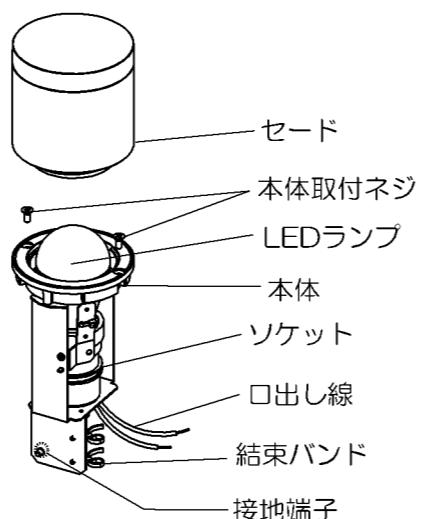
- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 積雪の期間は、雪に埋もれないようにする。
漏電・故障・損傷の原因になります。
- ポールは土壤のしっかりした場所に設置する。
※砂地などの土質の軟らかい場所に設置する場合は、コンクリートなどで
ポールの埋込部を固定してください。



2 施工に関しては電気設備基準・内線規程に従って行なう

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉

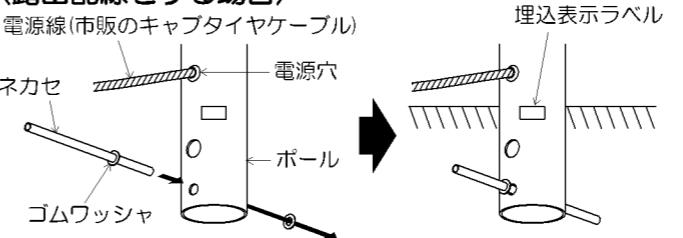
○ ネカセ 1本

◎ ゴムワッシャ 2枚

1 ポールを取付ける

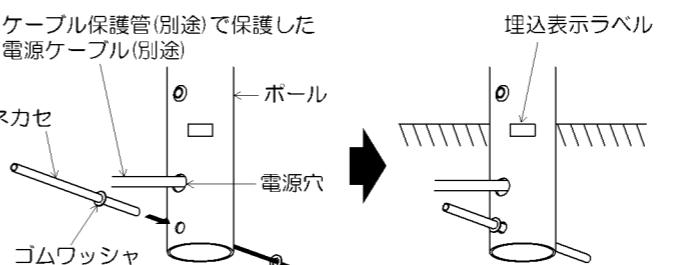
- 電源線(市販のキャブタイヤケーブル)を電源穴から
ポールに通す。
- ネカセをポールに差し込んでゴムワッシャで止める。
- 埋込表示ラベルがくくれるまで埋め込む。

〈露出配線をする場合〉



〈地中配線をする場合〉

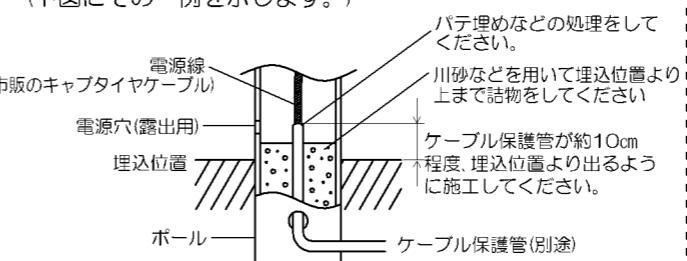
ケーブル保護管(別途)にパテ詰めなどの処理を行う。
電源線(市販のキャブタイヤケーブル)の長さはポール
の長さよりも20cm程長くしておいてください。



*ケーブル保護管(別途)は
PF管呼び14:JIS C 8411をご使用ください。

2 ポール下部の湿気対策を行なう

(下図にその一例を示します。)



!
器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

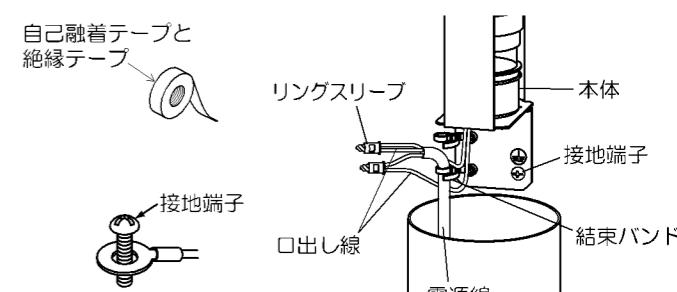
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に、器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 周囲環境によって、セード内側に結露が生じる場合がありますが、一時的なもので異常ではありません。
- ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

3 電源線を接続する

結束バンドで電源線を本体に固定する。
電源線と口出し線を確実に接続し、防水および絶縁
処理を行なう。

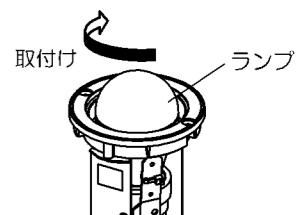
*D種(第三種)接地工事を行なう。
△警告 電源の接続および絶縁を確実に行なって
ください。

接続が不完全な場合は火災の原因になります。



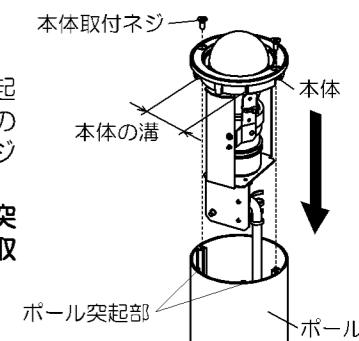
4 ランプを取付ける

ランプを押しながら
矢印方向に回して、
確実に取付ける。



5 本体を取付ける

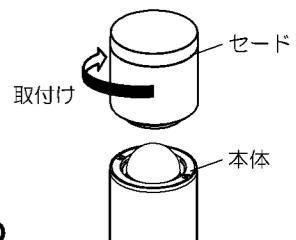
本体の溝とポールの突起部の方向を合わせ、図の
のように、本体取付ネジで取付ける。
※本体の溝とポールの突起部の方向が違うと取
付けできません。



6 セードを取付ける

セードを本体に合わせ、
矢印方向に回して、確実
に取付ける。

*無理な力を加えないで
ください。



7 点灯の確認を行なう

■ランプについて

- LED光源寿命（光束維持時間）は、40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- ランプの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。

間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

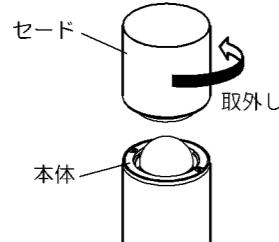
△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。 しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 セードを取り外す

セードを矢印方向に回して、本体より取外す。

※無理な力は加えないでください。



■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

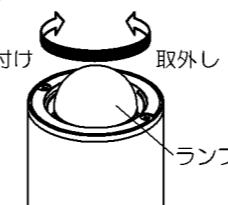
- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

3 古くなったランプを取り外す

4 新しいランプを取り付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。
落下によるけがの原因になります。

※白熱ランプは使用できません。



5 セードを取り付ける

■施工手順6を参考にセードを取り付ける。

6 使用済みのランプは必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具の取付け

型番 AU51314・AU51315・AU51316
AU51317・AU51318・AU51319

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

| ! 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。 | | | | | |
|---|-----------|--|--|---|--|
| | 厳守 | <p>器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。</p> | | 分解禁止 | <p>器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。</p> |
| | 禁止 | <p>この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。</p> | | 禁止 | <p>器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。</p> |
| | 禁止 | <p>この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障の原因になります。</p> | | アース工事 | <p>アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。</p> |
| | 厳守 | <p>このような場所には取付けないでください。 土壌のしっかりした場所に取付けてください。 →火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。</p> <p> 濡気の多い場所 振動や衝撃の多い場所 傾斜のある場所 不安定な場所 冠水のおそれがある場所</p> | | 表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 | <p>表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。</p> |
| | 厳守 | 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。 | | アース工事 | アースが不完全な場合、感電の原因になります。 |

| ! 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。 | | | | | |
|---|-------------|---|--|-------------|--|
| | 接触禁止 | <p>点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。</p> | | 禁止 | <p>ポール内に水がたまらないようにしてください。 →絶縁不良による感電および腐食によるポール折れの原因になります。</p> |
| | 禁止 | <p>ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。</p> | | 厳守 | <p>照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状況で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。</p> |
| | 禁止 | <p>ガス機器など、温度が高くなるものの近くへの取付けや、器具の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。</p> | | 地中配線 | <p>地中配線は、内線規程2400節地中電線路、JIS C 3653電力用ケーブルの地中埋設の施工方法に従ってください。 →絶縁不良による感電・故障の原因になります。</p> |

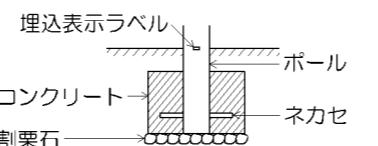
■定格

| 型番 | 定格電圧 | 入力電流 | 消費電力 | 使用ランプ |
|-------------------------|--------|-------|------|---------------------|
| AU51314・AU51315・AU51316 | AC100V | 0.07A | 4.4W | LDA4-H/E/W/2(E26)×1 |
| AU51317・AU51318・AU51319 | | | | |

■施工前の確認

1 設置場所を確認する

- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 積雪の期間は、雪に埋もれないようにする。
漏電・故障・損傷の原因になります。
- ポールは土壤のしっかりした場所に設置する。
- ※砂地などの土質の軟らかい場所に設置する場合は、コンクリートなどで
ポールの埋込部を固定してください。

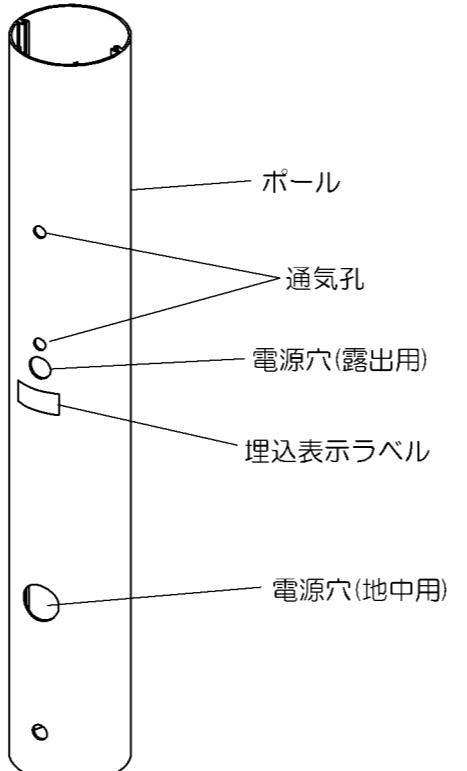
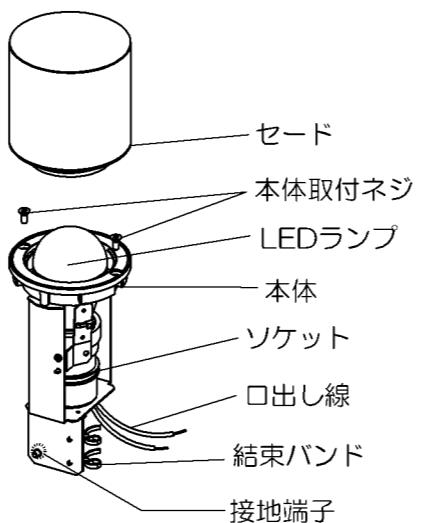


2 施工に関しては電気設備基準・内線規程に従って行なう

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。

※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉

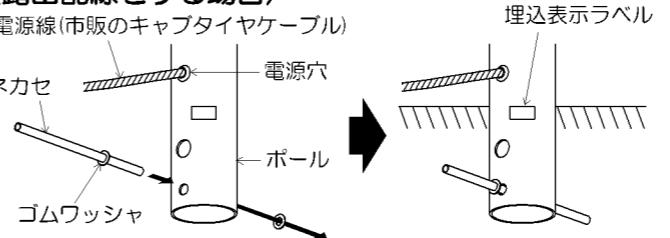
□ ネカセ 1本

◎ ゴムワッシャ 2枚

1 ポールを取付ける

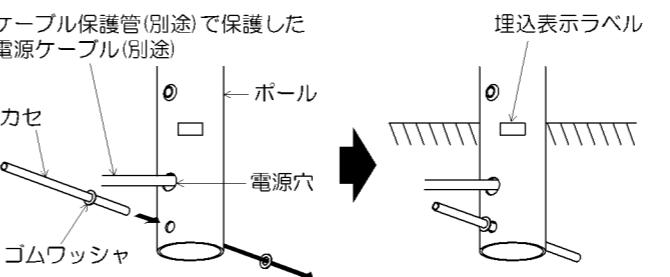
- 電源線(市販のキャブタイヤケーブル)を電源穴から
ポールに通す。
- ネカセをポールに差し込んでゴムワッシャで止める。
- 埋込表示ラベルがかくれるまで埋め込む。

〈露出配線をする場合〉



〈地中配線をする場合〉

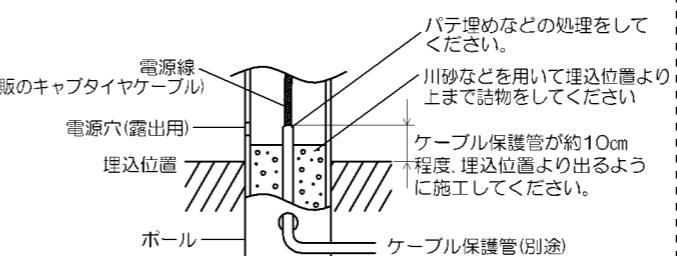
ケーブル保護管(別途)にパテ詰めなどの処理を行う。
電源線(市販のキャブタイヤケーブル)の長さはポールの
長さよりも20cm程長くしておいてください。



※ケーブル保護管(別途)は
PF管呼び14: JIS C 8411をご使用ください。

2 ポール下部の湿気対策を行なう

(下図にその一例を示します。)



!
器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

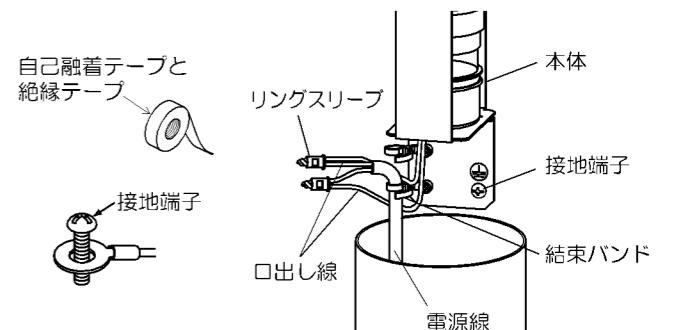
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に、器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがあります、異常ではありません。
- 周囲環境によって、セード内側に結露が生じる場合がありますが、一時的なもので異常ではありません。
- ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

3 電源線を接続する

結束バンドで電源線を本体に固定する。
電源線と口出し線を確実に接続し、防水および絶縁
処理を行なう。

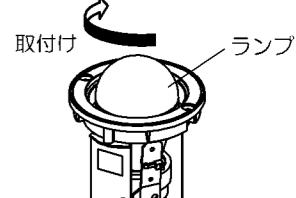
※D種(第三種)接地工事を行なう。
△警告 電源の接続および絶縁を確実に行なって
ください。

接続が不完全な場合は火災の原因になります。



4 ランプを取付ける

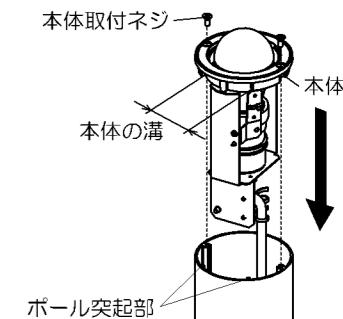
ランプを押しながら
矢印方向に回し、
確実に取付ける。



5 本体を取付ける

本体の溝とポールの突起部の方向を合わせ、図の
のように、本体取付ネジで取付ける。

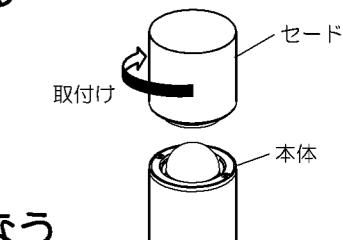
※本体の溝とポールの突
起部の方向が違うと取
付けできません。



6 セードを取付ける

セードを本体に合わせ、
矢印方向に回して、確実
に取付ける。

※無理な力は加えないで
ください。



7 点灯の確認を行なう

■ランプについて

- LED光源寿命（光束維持時間）は、40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチを使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- ランプの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

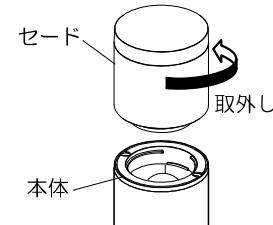
■ランプ交換について **△注意** ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。**△警告** 指定のランプ以外は使用しないでください。

間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。**1 電源を切る****2 セードを取り外す**

セードを矢印方向に回して、本体より取り外す。

※無理な力は加えないでください。

**■器具のお手入れ** **△注意** 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

3 古くなったランプを取外す**4 新しいランプを取付ける**

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。
落下によるけがの原因になります。

※白熱ランプは使用できません。

**5 セードを取り付ける**

■施工手順⑥を参考にセードを取り付ける。

6 使用済みのランプは必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

型番 AU51356・AU51357・AU51358
AU51359・AU51360・AU51361

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用**【安全上のご注意】**

| ! 警告 | | | |
|--|--------------|---|--|
| この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。 | | | |
| | 厳守 | <p>器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。</p> | |
| | 禁止 | <p>この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。</p> | |
| | 禁止 | <p>この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障の原因になります。</p> | |
| | アース工事 | <p>アース端子（線）が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地（アース）工事を行ってください。 →アースが不完全な場合は感電の原因になります。</p> | |
| | 厳守 | <p>表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。</p> | |
| | 厳守 | <p>異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。</p> | |
| | 分解禁止 | <p>器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。</p> | |

| ! 注意 | | | |
|--|-------------|---|--|
| この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。 | | | |
| | 接触禁止 | <p>点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。</p> | |
| | 禁止 | <p>ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。</p> | |
| | 厳守 | <p>地中配線は、内線規程2400節地中電線路、JIS C 3653電力用ケーブルの地中埋設の施工方法に従ってください。 →絶縁不良による感電・故障の原因になります。</p> | |

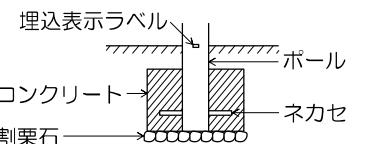
■定格

| 型番 | 定格電圧 | 入力電流 | 消費電力 | 使用ランプ |
|-------------------------|--------|-------|------|---------------------------|
| AU51356・AU51357・AU51358 | AC100V | 0.12A | 7.1W | LDA7-H-E17/E/S/W/2(E17)×1 |
| AU51359・AU51360・AU51361 | | | | |

■施工前の確認

1 設置場所を確認する

- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 積雪の期間は、雪に埋もれないようにする。
漏電・故障・損傷の原因になります。
- ポールは土壤のしっかりした場所に設置する。
※砂地などの土質の軟らかい場所に設置する場合は、コンクリートなどで
ポールの埋込部を固定してください。

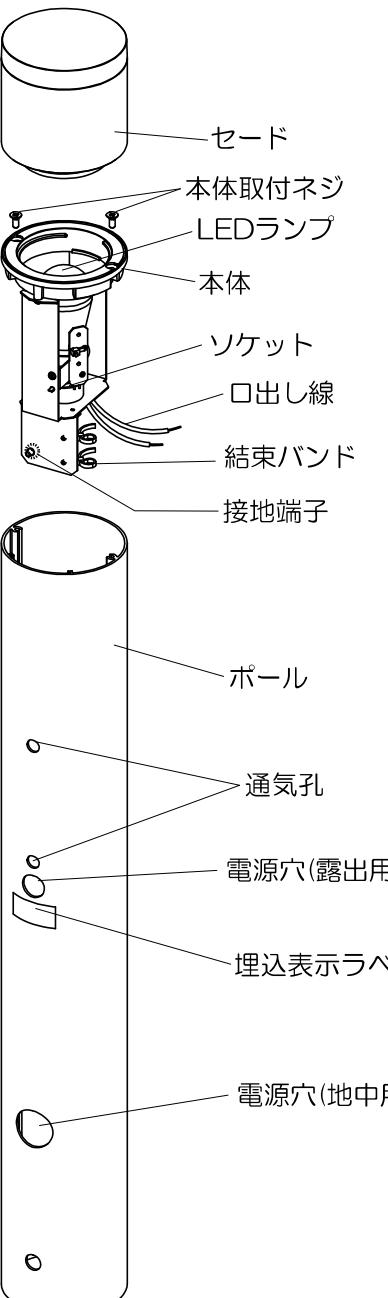


2 施工に関しては電気設備基準・内線規程に従って行なう

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。

※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



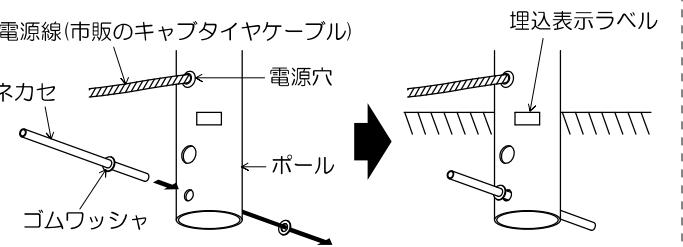
〈付属部品〉

- ネカセ 1本
◎ ゴムワッシャ 2枚

1 ポールを取付ける

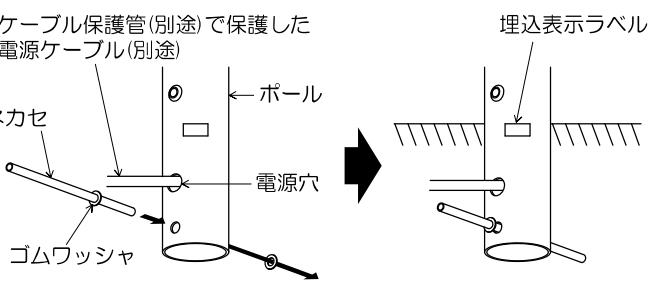
- 電源線(市販のキャブタイヤケーブル)を電源穴から
ポールに通す。
- ネカセをポールに差し込んでゴムワッシャで止める。
- 埋込表示ラベルがかくれるまで埋め込む。

〈露出配線をする場合〉



〈地中配線をする場合〉

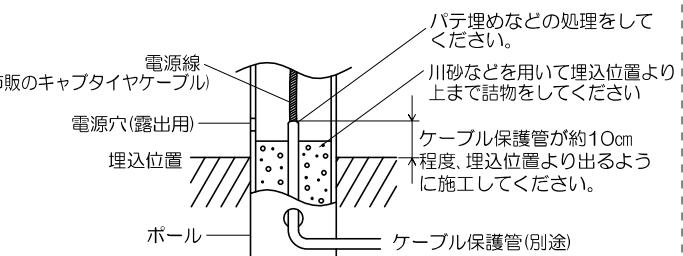
ケーブル保護管(別途)にパテ詰めなどの処理を行う。
電源線(市販のキャブタイヤケーブル)の長さはポール
の長さよりも20cm程長くしておいてください。



※ケーブル保護管(別途)は
PF管呼び14: JIS C 8411をご使用ください。

2 ポール下部の湿気対策を行なう

(下図にその一例を示します。)

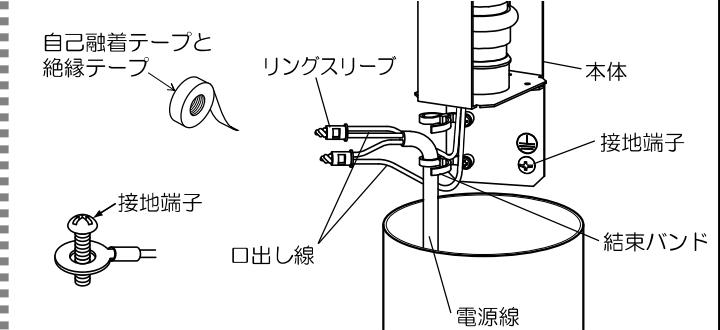


3 電源線を接続する

結束バンドで電源線を本体に固定する。
電源線と口出し線を確実に接続し、防水および絶縁
処理を行なう。

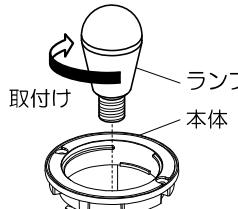
※D種(第三種)接地工事を行なう。
△警告 電源の接続および絶縁を確実に行なって
ください。

接続が不完全な場合は火災の原因になります。



4 ランプを取付ける

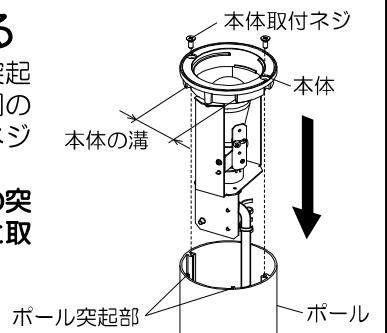
ランプを押しながら
矢印方向に回して、
確実に取付ける。



5 本体を取付ける

本体の溝とポールの突起部の方向を合わせ、図の
のように、本体取付ネジ
で取付ける。

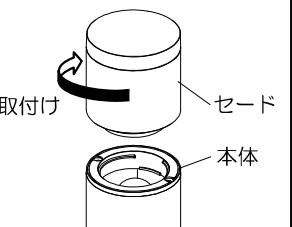
※本体の溝とポールの突
起部の方向が違うと取
付けできません。



6 セードを取付ける

セードを本体に合わせ、
矢印方向に回して、確
実に取付ける。

※無理な力は加えないで
ください。



7 点灯の確認を行なう

器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に、器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがあります、異常ではありません。
- 周囲環境によって、セード内側に結露が生じる場合がありますが、一時的なもので異常ではありません。
- ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。